

# 1月2日(日)

せいしよ  
聖書

Ⅱコリント5・13～19

せいいく  
聖句

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。 17節

今年最初の日曜日です。もう一度、「明けましておめでとうございます」。新しい年、新しい帽子、新しいセーター、新しい手袋に新しい靴、新しいマフラーと、何もかも新しいものを身につけると、新しい「ワタシ」になるのかな？では肝心の『新しい心』にはどうしたらなるの？それは買うことはできません！これまでの平気で罪を犯してきた心をおわびして、私の罪の代わりに十字架で死んでくださったイエス様を心にお迎えすると、新しい私の誕生です！

いのちの祈り  
天のお父様、イエス様だけが、心を造り変えてくださり、罪を犯したくない新しい者にしてください。感謝します。



せいしよ  
聖書

Ⅱコリント5・13～19

テーマ

キリストによる新創造

あんしやうせいいく  
暗唱聖句

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。

Ⅱコリント5・17

もく  
目 標

キリストを信じて新しくされた者として生きる。

カリキュラム番号 40

# 1月4日(火)

せいしよ  
聖書

エペソ2・7～10

せいいく  
聖句

わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。 10節

作品を作るのが大好きな人がいるでしょう？上手に作れる人と…うーんむずかしい、という人がいます。「実は、私たちひとりひとは神の作品ですよ」とパウロが言うのです。神様が私を「神の作品」として造ってくださったなんて！「へえ、私って、神様の作品なんだ」と考えてみてください。そうです。良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られた最高傑作なのです。イエス様を信じてはじめて良い行いができるのです。

いのちの祈り  
天のお父様、私も、良い行いをするようにイエス様にあって造られた、最高傑作と知ってうれしくなります。

# 1月3日(月)

せいしよ  
聖書

エペソ2・1～6

せいいく  
聖句

キリスト・イエスにあって、共によみがえらせ、共に天上で座につかせて下さったのである。 6節

したいと思う良いことができない、したくないと思う悪いことをしてしまう、これは心が罪によって死んでいるからなのです。あわれみ深い神様は、大きな愛をもって、ひとり子イエス様を与えてくださいました。私たちが罪をおわびすると罪をゆるしてくださって、罪から救ってください、イエス様と共に生きる心と力をくださいます。今、よみがえって天におられるイエス様と同じように、私の心もよみがえらされて、天にいますように生きていけるのです。

いのちの祈り  
天のお父様、罪と欲の思いの中で死んでいた私さえも、イエス様を信じて救われ、きよく生きられることを信じます。

# 1月6日(木)

聖書

I テサロニケ 5・16~18

聖句

いつも喜んでいなさい。

16節

仮装行列って楽しいですね。ナースの服を着たり、ウエイトレスの姿になったりすると、何となく、その気になってしまいます。でもそれは外側だけです。イエス様のみわざは心の内側からなのです。神様のかたちに、もう一度新しく造られた人、「新しい人」の姿を見ましょう。それは「キリスト・イエスにあって」のみでできることなのです。その人は、いつも喜んでいて人です。い・つ・も・です・よ！どんな時でもです。そんな人があなたのまわりにいるかな？あなたにも、そうなってほしいです。

いのちの祈り 天のお父様、いつも喜んでいてということ一つだけ考えても、その人は本当に「新しい人」といえるでしょうかありません。

# 1月5日(水)

聖書

エペソ 4・17~24

聖句

真の義と聖とをそなえた神にかたどって造られた新しき人を着るべきである。

24節

水遊びや雪遊びでぬれてしまった服とか、ころんで汚れてしまった服とかは、すぐに脱いで、きれいな服に着替えますよね。実は、心も着替えがいます。むなし心とか、硬い心とか、がんこな心とか、欲深い心とか、こういう心をもつ人を「古い人」と言うのです。その古い人を「えいっ！」と脱ぎ捨てます。イエス様の十字架を仰いでね。そして、「イエス様の心」を「私の心」として生きる決心をします。それが、「新しい人」を着ることなのです。

いのちの祈り 天のお父様、ほんとうに心の底から、きよく新しく造りかえてくださるのは、イエス様だけだとわかりました。

# 1月8日(土)

聖書

I テサロニケ 5・16~18

聖句

すべての事について、感謝しなさい。18節

カニがぶつぶつ泡を吹くように、よくぶつぶつ不平を言ったり、文句ばかり言う子どもはいませんか？自分もいやになるし、まわりの人もいい迷惑なのです。それは古い人の姿。しかし、新しい人とは、「すべての事について、感謝」する人なのです。す・べ・て・の・こと・です・よ！「えーっ!? そんなこと、本当にできるのかな？」と思いますか？神様はいつも私のために絶対に良いことだけをしてくださると信じていればできます。そして、人に対しても心から感謝できるようになるのです。

いのちの祈り 天のお父様、「ありがとう！」の一言が、いつも新しい人の心からあふれてくる言葉なのだとわかりました。

# 1月7日(金)

聖書

I テサロニケ 5・16~18

聖句

絶えず祈りなさい。

17節

新しい人とは、「いつもお祈りをしている人」、「やめることなくお祈りをしている人」だ、という事です。お祈りは、「神様、私にはどうしていいかわかりません。教えてください。私には何の力もありません。どうぞ力を与えてください。助けてください」という心のあらわれです。古い人は、何でも自分の思うまま勝手にやって、罪ばかり犯してきました。新しい人は、いつも何でもお祈りをして、神様の心がなるようにしていく人です。

いのちの祈り 天のお父様、あなたに喜ばれ、あなたのみ心が行われるために、もっともっとお祈りする者になりたいです。

# 1月9日(日)

せいしよ  
聖書

ヨハネ6・1～14

せいこく  
聖句

のこ 残ったパンくずは、じゅうに のかごに いっ ぱいになった。 13節

毎朝、パンを食べている人がいるでしょう。パンくずって、小さいけれど、このイエス様のなさった奇跡では、十二のかごにいっぱいになったとあります。「ヘエ! どうやって?」しかもパンはたった五つだったのに: それも、食べ残しのパンくずだよ! って考えてしまいませんか。一番驚いたのはだれだったでしょう。そう、その五つのパンと二匹のさかなをさし出した子どもでした! 「こんなにすごい祝福であるう!」と、お腹だけでなく胸も心もいっぱいになったことでしょう。

いの 祈り  
てんのお父様、小さくてもイエス様におささげすれば、それが大いに祝福されて用いられることを知り、感謝です。



せいしよ  
聖書

ヨハネ6・1～14

テーマ

しゆくふく 祝福されるささげ物

あんしやうせいこく  
暗唱聖句

のこ 残ったパンくずは、じゅうに のかごに いっ ぱいになった。ヨハネ6・13

もく 目標

しゆくふく 祝福されるささげ物をする者となる。

カリキュラム番号 41

# 1月11日(火)

せいしよ  
聖書

ヨハネ6・8～9

せいこく  
聖句

ここに、大麦のパン五つと、さかな二ひきとを持っている子供がいます。 9節

ピリポの次にためされたのは、シモン・ペテロの兄弟アンデレでした。アンデレにはとても魅力的な才能がありました。兄のシモンをイエス様のもとに連れていったのはアンデレ、ここでもパンとさかなを持った少年を見つけてイエス様のもとに連れてきたのです。「しかし、こんなに大ぜいの人では、それが何になりましょう」と、だれもが考えることを言いながら、大麦のパン五つと、さかな二匹だなんて、あまりにも少なすぎて話になりません、とね。

いの 祈り  
てんのお父様、「やっぱり、無理」と思う時には、「もしかしてイエス様にためされているのかも」と考えたいです。

# 1月10日(月)

せいしよ  
聖書

ヨハネ6・1～7

せいこく  
聖句

にひやく 二百デナリのパンがあっても、めいめいがすこ 少しずついただくにも足りません。7節

「一つ百円のパンを、一人が二つ食べると二百円。男の人だけで五千人だから、女の人や子どもをい入れれば一万人はゆうに超えます。たとえ一万人としても、パンは二万個必要です。総計二百万円なり!」イエス様、冗談でしょう、こんなに大勢の人のために買ってくるのは無理だし、たとえ手持ちの二百デナリ(およそ二百万円)で買っても少しずついただくにも足りませんよ」と、だれでもピリポのようになんて言うでしょう。これは、イエス様にためされていた、ということなのです。

いの 祈り  
てんのお父様、人はみな、目に見える数で計算することしかできません。でも、イエス様にはお考えがあることを知って感謝です。

# 1月13日(木)

聖書

ヨハネ 6・12～14

聖句

少しでもむだにならないように、パンくずのあまりを集めなさい。 12節

今はエコ時代です。あなたも買物袋をもって  
お買い物に行つてますか？びっくりするこ  
とに、二千年以上前に、イエス様もエコ人間  
だったということですね。いえ、神様の個性  
質が、何でもむだにしないというお心だ  
ったのです。あなたも、いろんな物を大切に  
使っていますか？「少しでもむだにならない  
ように、パンくずのあまりを集め」と、オ  
ドロクナカレ！十二のかごにいっぱいになっ  
たのです。何とあふれるばかりに祝福され  
たささげ物だったことでしょう。

いのちの祈り  
天のお父様、どんなに小さい力や愛や心でも、  
イエス様におささげして、あふれる祝福のわざを  
見ていきたいです。

# 1月12日(水)

聖書

ヨハネ 6・10～11

聖句

イエスは「人々をすわらせなさい」と言わ  
れた。その場所には草が多かった。10節

あなたの学校もお昼は給食ですか？全校生  
徒は何人かしら？五千人とか、一万人大と、  
それはそれは大変ですよ。さあ、イエス様に  
よる給食です。人々を、草の多い緑のじゅう  
たんのの上にすわらせました。すると、イエス  
様がパンを手に持って、感謝されます。そし  
てパンが配られます。次々に、あれあれとい  
う間にすべての人に、です。さかなも同じよ  
うにされました。すると、なーんと、みんな  
ほしだけ食べられたついでなんです！これ  
どうなってるのー？

いのちの祈り  
天のお父様、イエス様の手にあふれるおささげすると、  
小さいパンもさかなも不思議にふえて、何と素晴  
らしいことでしょうか。

# 1月15日(土)

聖書

マラキ 3・6～12

聖句

わたしが天の窓を開いて、あふれる恵  
みを、あなたがたに注ぐか否かを見な  
さいと、万軍の主は言われる。 10節

さあ、私たちも祝福されるささげ物をした  
いですよね。そうしましょう！それは十分の  
一のささげ物です。旧約最後の預言者マラキ  
は、イエス様が来られる四百年くらい前に神  
の民に言います。「あなたがたはドロボーだ！  
神様のものを盗んでるぞ」ってね。すべての収  
穫や収入の十分の一は神様のものとしてきよ  
く分けて、主の宮におさめるべきだったのに、  
やっていなかったのです。今も、十分の一を  
神様にお献げするとこの約束のように祝福が、  
あふれるまでにゆすり入れられます。

いのちの祈り  
天のお父様、私もいつでも十分の一をお献げし  
ていく時、祝福されるささげ物ができるとを知  
ってうれしいです。

# 1月14日(金)

聖書

列王 上 17・8～16

聖句

主が雨を地のおもてに降らす日まで、かめ  
の粉は尽きず、びんの油は絶えない。14節

イエス様の父なる神様が、心からのささげ物  
をどんなに喜んでくださるかは、旧約聖書の  
中にも記されています。去年の十一月に学ん  
だ預言者エリヤを通してのめざましいです。ケリ  
テ川が干涸びたあと、神様は偶像の地シドン、ザ  
レパテのやもめ女(夫が亡くなった女の人)の  
所へエリヤを導きました。しかもその女と子  
どもは最後のパンを焼いて食べて死のうとし  
ていました！まずエリヤのために小さいパン  
を一つささげると、「かめの粉は尽きず、びん  
の油は絶えない」で彼らは生きのびました。

いのちの祈り  
天のお父様、エリヤの言葉に従いパンをささげ  
たやもめと子どもの驚きと感動が伝わってきて、  
心が豊かになります。

# 1月16日(日)

聖書

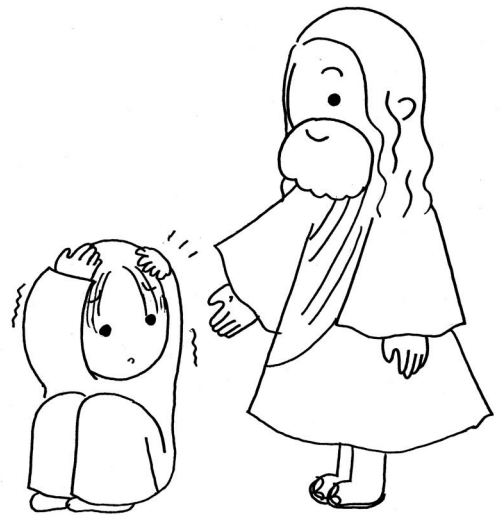
マタイ14・22～33

聖句

しっかりするのだ、わたしである。おそれることはない。 27節

あなたもあまりに恐くて、「キヤーツ!」とか「ギヤーツ!」とか悲鳴をあげたことがあるでしょう? 雷がゴロゴロ鳴ったり、犬にほえられたりして! この弟子たちは、逆風で舟もあぶないし、おまけに、幽霊みたいな人が海の上を歩いて近づいてくるので、それはそれは、ぞつ! として叫んだのだ。しかし、その人が、「しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない」と言われました。弟子たちは、「ハア、イエス様でしたか」と胸をなでおろしました。

いのちの祈り 天のお父様、どんなに恐ろしいことにでくわしても、主が「わたしだ、恐れるな」と言ってくださるので感謝です。



聖書

マタイ14・22～33

テーマ

逆風の中で主を見る

暗唱聖句

しっかりするのだ、わたしである。おそれることはない。マタイ14・27

目標

試練の中でも信仰をもってキリストを見る者となる。

カリキュラム番号 42

# 1月18日(火)

聖書

マタイ14・23

聖句

そして群衆を解散させてから、祈るためひそかに山へ登られた。夕方になっても、ただひとりそこにおられた。 23節

群衆を帰らせ、弟子たちを舟に乘せて向こう岸へ先におやりになり、たつたひとりきりになって、イエス様はどうされたでしょうか。だれにも知られないように山へ登られました。何しに? お祈りをするためでしたよ。イエス様は、天からの力に満たされるために天の愛するお父様とたつぷりお話をされました。そのイエス様が私たちにも、ひとりになってお祈りして「こんなさいと言っておられます(マタイ6・6)」。お祈りしよう!

いのちの祈り 天のお父様、私もイエス様のように、ひとりきりになって、いっぱいお祈りをする子どもになりたいです。

# 1月17日(月)

聖書

マタイ14・22

聖句

イエスは群衆を解散させておられる間に、しいて弟子たちを舟に乗り込ませ、向こう岸へ先におやりになった。 22節

おなかいっぱい食べ、パンくずの残りを集めて、弟子たちも群衆も、きつとおなかも胸もいっぱいだったでしょう。「このままずっと、ここにいたいよ」と思っていたかもしれないね。そんな群衆を「さあ、もうそろそろお家へ帰る時がきましたよ」と言われたのはイエス様でした。イエス様はいつでも終りまで面倒みてくださるのですね。教会学校の先生も、「じゃ、また来週ね、気をつけて帰ってね、バイバイ!」って、ちゃんと見送ってくれるでしょう?

いのちの祈り 天のお父様、イエス様は、終りのけじめもちゃんとつけてくださることを知りました。ならわせてください。

# 1月20日(木)

聖書

マタイ14・27～29

聖句

わたしに命じて、水の上を渡ってみもと  
に行かせてください。 28節

突然、聞きなれた声で「しっかりとるのだ、  
わたしである」と言われて、弟子たちはホッ  
としたことでしょう。するとペテロが「わた  
しに命じて水の上を歩いてあなたのところへ  
行かせてください」と言うではありませんか。  
イエス様は、「おいでなさい」と招いてくだ  
さったので、なーんと、ペテロは舟からおり  
ました！そして、水の上を歩いてイエス様の  
ところへ行つたのです！ペテロも、それを見  
ていた弟子たちも信じられないような瞬間！

いのちの祈り  
天のお父様、本当にイエス様が命じられたこと  
なら、そのとおりのことができるのだと驚いてし  
まいます。

# 1月19日(水)

聖書

マタイ14・24～26

聖句

イエスは夜明けの四時ごろ、海の上を歩いて  
彼らの方へ行かれた。 25節

イエス様が、ふと目を上げて海の上の舟を  
見ると、逆風が吹いていて波は高いし、弟子  
たちが困っている様子が目に見えるようでし  
た。そこで、イエス様は海の上を歩いて弟子  
たちの方へ行かれました。「ヒエーッ、何だ  
あれは!?」「ギョエーッ！幽霊だあー！」っ  
て、弟子たちは恐くて青くなつて、叫び声を  
あげました。イエス様は、私たちのためにも、  
困ったことや悩みの大波を踏み越えて助けに  
来てくださることを信じましょう。

いのちの祈り  
天のお父様、私が困ったり、悩んだりするのを  
イエス様は見えてくださり、助けに来てくださ  
り感謝します。

# 1月22日(土)

聖書

マタイ14・32～33

聖句

ふたりが舟に乗り込むと、風はやんでし  
まった。 32節

「あーあ、信仰の薄いボク…」と、何とも  
言えない顔のペテロを抱きかかえるようにし  
て、イエス様が舟に乗りこんでこられました。  
すると！今までビュービュー吹き荒れていた  
逆風が、ピタッとやんでしまったのでした。  
舟の中にいて、できごとをずっと見ていた弟  
子たちは、イエス様を心からあがめ、礼拝し  
て言いました、「ほんとうに、あなたは神の子  
です」と。私たちの心もいろいろなことで波  
立っても、イエス様を心にお迎えすれば大丈夫！

いのちの祈り  
天のお父様、心が心配ごとや、不安や恐れでい  
っぱいになる時、イエス様、この心にお入りくだ  
さいと祈ります。

# 1月21日(金)

聖書

マタイ14・30～31

聖句

信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。 31節

ところが、次の瞬間、「ブク、ブク、ブク  
…」って、ペテロはおぼれかけました。どう  
したのでしょう？ペテロはイエス様から目  
を離して、吹きつけてきた逆風を見て、恐ろ  
しくなつてしまったのでした。水の中に沈ん  
でバタバタしながら、「主よ、お助けくださ  
い」と叫びました。イエス様は、サツと手を  
伸ばして、しっかりとペテロをつかまえて、  
「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言わ  
れました。信仰があれば、すごいことができ  
るんですね。

いのちの祈り  
天のお父様、「信仰」について考えさせられま  
す。どこまでもあなたを信じて、あなたのみわざ  
を見たいです。

# 1月23日(日)

聖書

ヨハネ11・32～44

聖句

もし信じるなら神の栄光を見るであらう。 40節

あなたは、お葬式に出たことがありますか？亡くなった人とお別れで、お顔を見せてもらうでしょう。今は火葬が多いですが、ユダヤでは岩を掘った穴の中に死んだ人のお身体を納めます。死んで四日もたったラザロでしたから、もう墓の中で臭くなっているにちがいないと姉のマルタは言います。しかし墓のふたをしている石を取りのけなさいとイエス様は言われます。マルタや人々の心を知っておられ、「もし信じるなら神の栄光を見る」と言い、ラザロをよみがえらされました！

**いのちの祈り** 天のお父様、信じられないほどのイエス様からのお言葉にも信じて従い、あなたの栄光を見ることができるよう。



聖書

ヨハネ11・32～44

テーマ

もし信じるなら

暗唱聖句

もし信じるなら神の栄光を見るであらう。 ヨハネ11・40

目標

困難の中にも神を信頼し、神にご栄光をあらわして頂く。

カリキュラム番号 43

# 1月25日(火)

聖書

ヨハネ11・5～16

聖句

わたしたちの友ラザロが眠っている。 わたしは彼を起しに行く。 11節

「病気です！」と聞いたら、イエス様ならとんで行かれるのかと思ったら、二日もそこにとどまっておられました。それから「ユダヤへ行こう」と言われました。その二日のうちにラザロは死んでしまったのです。イエス様のお言葉は、まちがっていたのでしょうか？人が亡くなったなら、ふつうは残された人々をお慰めに行きます。ところがイエス様は「ラザロを起しに行く」とおっしゃいます。弟子たちはきくと、「イエス様の言われることわかんない?」と思ったでしょうね。

**いのちの祈り** 天のお父様、私たちにはわからなくても、イエス様はあなたの栄光のためだけに働いてくださることを信じます。

# 1月24日(月)

聖書

ヨハネ11・1～4

聖句

この病気は死ぬほどのものではない。 4節

イエス様が大好きだったラザロ、イエス様も彼を愛していました。ラザロのお姉さんたちマルタとマリヤは、イエス様のもとに使いの人を送って、「イエス様、今、あなたの愛しておられるラザロが病気です」と伝えました。イエス様はそれを聞いて、「この病気は死ぬほどのものではありません。それは神様の栄光のため、また神の子がそれによって栄光を受けるためのものです」と言われたのです。みんなは、とても励まされたことでしょう。

**いのちの祈り** 天のお父様、病気になることはいやなことと思いますが、それでもあなたの栄光があらわれるためと知り感謝です。

# 1月27日(木)

聖書

ヨハネ11・28～36

聖句

イエスは涙を流された。

35節

「あなたがここにいて下さったなら、弟は死ななかつたでしょう」と、マリヤも同じように言つて、涙を流しています。一緒にきたユダヤ人たちも泣いています。涙、涙、涙でした。イエス様も「涙を流された」のでした。それを見たユダヤ人たちは、「ああ、なんと彼を愛しておられたことか」と言いました。イエス様の涙は、ラザロの死を悲しむ人々への同情の涙だけではなく、「死」の中に捕われている人類のために流された涙でもありました。

いのちの祈り  
天のお父様、私が悲しんで涙を流す時、イエス様も共に涙を流してくださる救い主であられることを感謝します。

# 1月26日(水)

聖書

ヨハネ11・17～27

聖句

わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとひ死んでも生きる。 25節

ベタニヤには大勢のユダヤ人が、死んだラザロの姉たちマルタとマリヤを慰めようとして来ていました。マルタはイエス様を迎えて言いました。「あなたがここにいて下さったなら、弟は死ななかつたでしょう」、「終りのよみがえりの時、よみがえることは知っています」と。そう言うマルタに、イエス様は「わたしはよみがえりであり、命である」と言われ、「信じますか?」とたずねました。きょう、あなたはどうか。信じますか?

いのちの祈り  
天のお父様、すでによみがえられたイエス様を信じている私たちは、終りの日のよみがえりを心から信じます。

# 1月29日(土)

聖書

ヨハネ11・41～44

聖句

こう言いながら、大声で「ラザロよ、出てきなさい」と呼ばわれた。 43節

人々は、きつと、おそろおそろ、重たい石を取りのけたでしょう。だって、中には死んで四日もたつて臭くなっているラザロが横たわっているのですから! イエス様は目を天にむけて、お祈りを必ず聞いてこたえてくださる父なる神様にお祈りされました。イエス様をつかわされたのは神様だと、人々が信じることができるようにと。大声で、「ラザロよ! 出てきなさい!!」と呼ぶと、な、な、なんと! 全身布でまかれた死んでいたはずのラザロが出てきたのです!

いのちの祈り  
天のお父様、ここでやっとな、ラザロの病氣は神の栄光のためだ、と言われたイエス様の言葉がよくわかりました。

# 1月28日(金)

聖書

ヨハネ11・37～40

聖句

イエスは言われた、「石を取りのけなさい」。 39節

ラザロのお墓、それは洞穴でした。そしてそこには大きな石がはめてありました。「中にあるのは死体です。もはや希望はありません」と、その石が冷たく語っているみたいですね。ところがイエス様は、「石を取りのけなさい」と言われるではありませんか! マルタはあわてて、「エッ!? もう臭いですよ、四日もたつています」と言つと、「もし信じるなら神の栄光を見るであろうと、あなたに言ったではないか」との返事。さあ、人々はとうしたかな。

いのちの祈り  
天のお父様、私たちの目の前にも「もうダメ」というような石が置かれる時、このあなたの言葉をおもひ出し、従います。



# 1月30日(日)

聖書

マタイ16・13～20

聖句

あなたこそ、生ける神の子キリストです。 16節

「わたしはだれでしょう?」と、イエス様の質問です。「人々はわたしのことをだれと  
言っているのか」と弟子たちに尋ねました。  
彼らの口からいろんな答えが返ってきます。  
「バプテスマのヨハネ」、「エリヤ」、「エレミヤ」、「預言者のひとり」。イエス様は次に弟子  
たちの方を見つめて、「では、あなたがた  
はわたしをだれと言うか」と尋ねると、シモン・ペテロが答えます。「あなたこそ、生ける  
神の子、キリストです」と。「正解!」イエス様は満足されました。

いのちの祈り 天のお父様、ペテロのように、私も「イエス様こそ生ける神の子、キリストです」と、心より信じて告白します。



聖書

マタイ16・13～20

テーマ

信仰告白

暗唱聖句

あなたこそ、生ける神の子キリストです。 マタイ16・16

目標

キリストに対する正しい信仰告白をする。

カリキュラム番号 44

# 2月1日(火)

聖書

マタイ16・14～16

聖句

それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか。 15節

バプテスマのヨハネと言えば、イエス様より半年お兄さんで、イエス様のために道を備えた「人間」でした。エリヤは大いなる奇跡の数々を行い、偶像崇拜者と大胆に対決した預言者、つまり「人間」でした。エレミヤも涙の預言者、他の預言者たちもみんな「人間」でした。どんなに神様に用いられてもね。そこでイエス様は、弟子たちに、また今日、あなたにも尋ねられますよ。ペテロと一緒に「あなたこそ、生ける神の子キリストです」と告白しましょう。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様は他のどんな人間とも違う「神の子キリストです」とハッキリと信じ、告白します。

# 1月31日(月)

聖書

マタイ16・13

聖句

イエスがピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、弟子たちに尋ねて言われた、「人々は人の子をだれと言っているか」。13節

イスラエルに詳しい人から聞きました、「ピリポ・カイザリヤはね、川がはじまる所で、ちょうど水が分かれる所にあるんだ。その場所でイエス様は大切な質問をしたんだよ」と。つまり、最初は同じ場所であつても、そこから、正反対に水が流れていくと、行き着く先は大きく違ってしまいます。イエス様は立派な預言者ですか?人間ですか?それとも神ですか?私たちは、イエス様を「生ける神の子、救い主」と信じて、救いの道を歩みましょう。

いのちの祈り 天のお父様、とても大切な信仰の告白「イエス様は神の子、救い主」と信じ告白させてくださり、感謝しています。

# 2月3日(木)

聖書

マタイ16・17

聖句

あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。 17節

100%正解の答えをしたペテロさんに、イエス様は言われました。「バルヨナ・シモン、あなたは恵まれた、さいわいな人だよ。あなたにこの大切な100%正解の答えをあらわしてくださったのは、どんな人でもない。また、あなた自身から出たものでもない。実は、天におられるわたしの父なる神様が教えてくださったことですよ」と。ちょっと得意顔だったペテロさんもそう言われて、「そうだ、そうだよな」って、うなずいて父なる神様に心から感謝したのです。

いのちの祈り  
天のお父様、あなたはいつも私たちの心を開いて、大切なことを教えてくださいますから本当に感謝です。

# 2月2日(水)

聖書

マタイ16・15～16

聖句

シモン・ペテロが答えて言った、「あなたこそ、生ける神の子キリストです」。16節

さすがペテロさん！バッチリ、100%正解の答えでした。イエス様は、きつと内心ドキドキだったことでしょうね。まちがってはいけません。神様は生きておられます。その御子イエス様も、十字架にかかられましたが、三日目によりみがえられて、生きておられます。いつもわたしと共に歩いてくださいます。そして「キリスト」、「油注がれたメシヤ」、「救い主」なのです。ですから、わたしたちを罪から救ってくださいるとともに、毎日救い続けてくださるのです。

いのちの祈り  
天のお父様、今は私たちの目には見えませんが、イエス様が毎日共におられる、生きておられる救い主と信じます。

# 2月5日(土)

聖書

マタイ16・19

聖句

わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。 19節

かぎの中のかぎ！それが「天国のかぎ」でしょう。イエス様を「生ける神の子キリストです」と信じ告白する人は、天国のかぎが与えられ、やがて、天国に入れてもらえるのですね。そればかりでなく、今も天国のかぎを自由に使って、天国の祝福をふり注いでもらうことができるのです。それが「お祈り」という天国のかぎです。あなたはよくお祈りをする子どもですか？お祈りをすれば生きておられる神様ですから、必ずこたえてもらえるのです。

いのちの祈り  
天のお父様、素晴らしい天国のかぎ（お祈り）を用いて、もっともっと天の祝福を注いでもらえますように。

# 2月4日(金)

聖書

マタイ16・18

聖句

わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。 18節

イエス様はつづいて大切なことをシモンに言われています。「あなたはペテロ（岩）だよ。そして、わたしはあなたが告白した信仰という岩の上に、わたしの教会を建てるよ」と。イエス様の教会の土台は「この岩」です。つまり、「イエス様は生ける神の子キリストです」という信仰の告白なのです。そう信じてバプテスマを受ける人たちの集まり、それが教会です。その教会には黄泉の力も打ち勝つことはできないのです。何と心強いことでしょうか！

いのちの祈り  
天のお父様、イエス様を「生ける神の子キリスト」と信じ告白する教会がいかに強いものかわかりました。

# 2月6日(日)

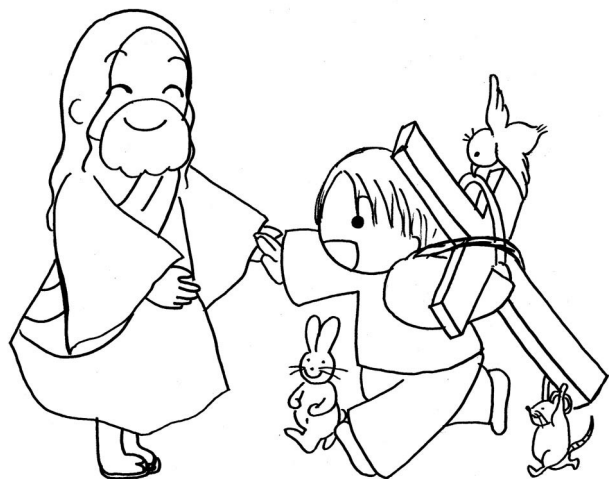
せいしよ  
聖書  
せいいく  
聖句

マタイ16・21～26

自分を捨て、自分の十字架を負うて、  
わたしに従ってきなさい。 24節

一年で一番寒い季節、私たちは二月と三月で  
イエス様のきびしい十字架への道を見ていき  
ます。「イエス様、ありがとう」「イエス様に  
ついていきます」という気持ちでね。イエス様に  
ついていきたいと思うなら、「自分を捨て、自  
分の十字架を負うて」イエス様に従っていくの  
です。今まで自分のことしか考えられなかった  
に、イエス様の愛がわかると、もう自分のこと  
よりもイエス様のことがかり考えるようにな  
り、苦しみも耐えられるから不思議！

いのちの祈り  
天のお父様、私の罪の身代わりのイエス様の十字  
架を思えば、私も自分の十字架を負う勇氣と力が  
わいてきます。



せいしよ  
聖書

マタイ16・21～26

テーマ

十字架を負う生涯

あんしよせい  
く  
暗唱聖句

自分を捨て、自分の十字架を負う  
て、わたしに従ってきなさい。

マタイ16・24

もく  
目  
ひよう  
標

自分に与えられた十字架を負って、  
主にお従いする者となる。

カリキュラム番号 45

# 2月8日(火)

せいしよ  
聖書  
せいいく  
聖句

マタイ16・22～23

イエスは振り向いて、ペテロに言われ  
た、「サタンよ、引きさがれ」。 23節

「何ですって!? イエス様が苦しめられる?  
殺されるですって!? 長老、祭司長、律法学者た  
ちから?」ペテロは思わず、「ちよっと、イエ  
ス様、こちらへきてください。そんなことがあ  
ってはいいませんよ、とんでもないことですよ」  
とイエス様をつかまえて言いました。すると  
イエス様のきびしいお顔とビックリするよう  
なお言葉! 「サタンよ、引きさがれ。わたしの  
邪魔をする者! 神のことを思わないで、人の  
ことを思っている」と。ほめられたあとにね。

いのちの祈り  
天のお父様、たとえ一番弟子のペテロでもあな  
たのご計画を邪魔するなら、「サタン」と同じとわ  
かりました。

# 2月7日(月)

せいしよ  
聖書  
せいいく  
聖句

マタイ16・21

この時から、イエス・キリストは、…弟  
子たちに示しはじめられた。 21節

何にでもきつかけとかチャンスとかありま  
すよね。小学校一年生になったからとか、十才  
になったからとか、あの映画を見て感動してか  
らとか。ここでイエス様は、「この時から」弟  
子たちに、「自分がエルサレムへ行つて、多く  
の苦しみを受けて、殺され、そして、三日目によ  
みがえらという、とても大切なことを示しはじ  
められました。「この時」とは? そう、ペテロ  
が重大で100%正解の告白をした時からです。「も  
う大丈夫」と主は思われたのでしょうか。

いのちの祈り  
天のお父様、大切な事を知らせていただけるに  
は、ちゃんとした信仰をもたなければいけないこ  
とを知りました。

# 2月10日(木)

聖書

マタイ16・26

聖句

たとひ人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。

26節

あれもほしい、これもほしい、世界中のぜくんぶがぼくのものになるといいな！でも、もしそうなったとしても死ぬ時はひとりで、裸で死んでいきます。なんにも持っていないけません。死んで、その先が重要です。神様がくださる新しい永遠の命、イエス様の十字架により罪をゆるして新しくいただく滅びない命のことなんか、全然考えなかつたら、完全に自分の命を損してしまいます。大変！全世界より重い大切なあなたのため一つ一つの命は大丈夫ですか？

祈り 天のお父様、欲ばりな心で、一番大切な命を失ってしまいませんか。永遠の命をいただいて歩ませてください。

# 2月9日(水)

聖書

マタイ16・24~25

聖句

わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう。 25節

イエス様の歩まれた道、イエス様の生き方を考えてみると、この言葉がよくわかってきます。「自分の命を救う」とは自分のことばかり考えていること。「自分の命を失う」とは自分のことは二の次にしてイエス様のことを第一に考えることです。イエス様は父なる神様のお心を大事にして、いつもご自分の命を失う道を歩かれました。この世に来てくださり、十字架で自分の命を捨ててくださいました。そしてついに！神様の力によって、みごとに最高の命を得られたのです！

祈り 天のお父様、イエス様のように、どうしたら自分の命を失って、そしてまことの命を得ることができるか、いつも教えてください。

# 2月12日(土)

聖書

ルカ9・18~27

聖句

自分を捨て、日々自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。 23節

お医者さんだったルカも、この同じ場面を描いています。この中で注目する言葉は、「日々」という言葉ですね。何かイエス様に従うのに、特別な時だけ、十字架を負うのではありません。「毎日、毎日、一日、一日、来る日も、来る日も、きょうも、明日も」、つまり、『日々』なのです。イエス様を信じているからやってくる苦しいことや、いやなこと、恥をかくことに、日々、喜んで耐えて、ただイエス様についていくのです。それが命を得ていく道です。

祈り 天のお父様、私もどこまでもイエス様についていきたいです。日々、自分の十字架をしっかりと負わせてください。

# 2月11日(金)

聖書

マルコ8・31~38

聖句

それから群衆を弟子たちと一緒に呼び寄せて、彼らに言われた。 34節

お弟子のマタイさんだけでなく、マルコも福音書の中に、この大切な場面について記しています。マルコはイエス様の弟子ペテロの話したことを記したと言われています。ここにはイエス様が「群衆を弟子たちと一緒に呼び寄せて」とあるのに驚きます。お弟子さんたちだけに、このきびしい弟子としての生き方を話されたのかと思っていいたら、そばにいた群衆にもおっしゃったのです。ですから、本当にイエス様についていきたい人すべてのためです。

祈り 天のお父様、だれであっても、イエス様に従いたい人は、自分を捨てて十字架を負うべきだとわかりました。

# 2月13日(日)

聖書

マタイ21・1～11

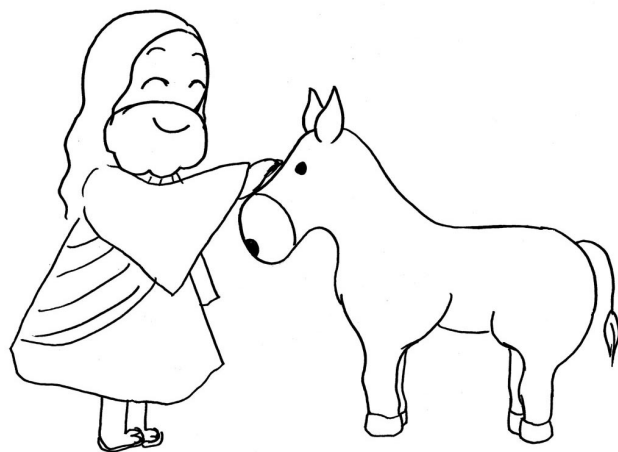
聖句

主がお入り用なのです。

3節

はじめてお父さんかお母さんのおつかいができた時、うれしかったでしょう？ 何のおつかいだったのかな？ 小さい私もお役に立てるんだと思うとルンルン、うれしくなります。ここではイエス様がエルサレムの都におはいりになる時、ろばと子ろばを引いてこさせて、その上に乗られたということです。王様なのに、立派な軍馬なんかではありませんでした。向こうの小さな村のだれかのつながれた子ろばさんでした！ 今も小さい私を用いてくださいますからうれしいですね。

**いのちの祈り** 天のお父様、子ろばの上に乗られたイエス様のために、私も子ろばのように小さいですが、どうぞお用いください。



聖書

マタイ21・1～11

テーマ

主が用いられる人

暗唱聖句

主がお入り用なのです。

マタイ21・3

目標

神が小さな者をも用いてくださることを知り、自分を明け渡す。

カリキュラム番号 46

# 2月15日(火)

聖書

マタイ21・3～5

聖句

こうしたのは、預言者によって言われたことが、成就するためである。4節

聖書の預言って、スゴイと思います。私たち人間の言葉は、その時は本気でも、そのとりにできなかったということがよくあります。でも、聖書のみ言葉は、必ずそのとおりになるのですから、本当にスゴイという以外にありません。これぞまさに神の言葉です！ イエス様の一生もすべて『預言のとおりに』でした。聖書に書かれていて、まだ起こっていないことは、全部これから次々と起こっていくのです。さあ、小さい私だって聖書を読もう！

**いのちの祈り** 天のお父様、あらためて、あなたの預言のたしかなことを知ります。もっと聖書を読んで信じて従いたいです。

# 2月14日(月)

聖書

マタイ21・1～2

聖句

それを解いてわたしのところに引いてきなさい。2節

イエス様には、すべてのことが見えておられて、ご自分がこれから何をしようかということもちゃんと知っておられるのです。弟子たちや、私たちには、時々、エッ？ イエス様、これってどういうことですか？ と、ピンとこないこともあります。でもイエス様には大丈夫！ 知らない人のろばを解いてくるのです。その人が「どうするつもりだ」なんて言ったら「主がお入り用なのです」と言えばすぐ渡してくれるからって！ 力のあるイエス様の言葉！

**いのちの祈り** 天のお父様、あなたが用いようとされるものに対して、だれも文句を言ったり手を出したりできないとわかりました。

# 2月17日(木)

聖書

マタイ21・7～8

聖句

その上に自分たちの上着をかけると、イエスはそれにお乗りになった。7節

あなたも大拍手してもらったり、大歓迎してもらったりしたことがありますか？ 何だかとてもいい気持ちで思ってたでしょうか。さあ、ここで大歓迎、大拍手を受けているのはイエス様です。ろばの背に人々が上着をかけると、イエス様はその上にお乗りになりました。子ろばはと言えば――？ 背の上にイエス様をお乗せして、うつむきかげんにだまってもイエス様をお運びして、歩いていくだけです。でもイエス様が大拍手を受けられて子ろばは満足でした。

いのちの祈り  
天のお父様、あなたに用いられることは決して、いつも華々しいばかりではないことを心にしまっておきます。

# 2月16日(水)

聖書

ゼカリヤ9・9～10

聖句

彼は義なる者であって勝利を得、柔和であって、ろばに乗る。すなわち、ろばの子である子馬に乗る。9節

マタイ21・5には、「見よ、あなたの王がおいでになる、柔和なおかたで、ろばに乗って、くびきを負うろばの子に乗って」とあります。イエス様こそ、真の王です。この王は義しいお方で、いつも勝利されるお方です。その勝利というのは、ローマの軍隊のように武器でもって戦って勝利するものではありません。ろばはへりくだった柔和な性質の動物ですが、イエス様の勝利もけんそんとやさしさによる勝利なのです。こんな王様のもとにいる民は幸せです。

いのちの祈り  
天のお父様、私の心にも、正しくへりくだったやさしい王なるイエス様をお迎えできて、ありがとうございます。

# 2月19日(土)

聖書

詩篇118・22～29

聖句

主よ、どうぞわれらをお救いください。主よ、どうぞわれらを榮えさせてください。25節

「ダビデの子に、ホサナ。いと高き所にホサナ」の叫びも、実は聖書に預言されていました。詩篇118・25ですね。その22節も預言のとおりになりました。つまり、「家造りらの捨てた石(イエス様)は隅のかしら石となった」のでした。日曜日「ホサナ」と叫んだ人々の叫びは、その週の金曜日には「十字架につけよー」に変わりました。イエス様は真実に、「われらをお救いください。ホサナ」の叫びにこたえて、十字架にかかり、救いを完成されました。

いのちの祈り  
天のお父様、子ろばはほんとに小さいお手伝いをしました。私も人々の救いのためにお役に立てますように。

# 2月18日(金)

聖書

マタイ21・9～11

聖句

ダビデの子に、ホサナ。主の御名によってきたる者に、祝福あれ。いと高き所に、ホサナ。9節

イエス様をお乗せした子ろばは、人々が道に敷いた上着や木の枝をふみしめて進みます。人々は木の枝を手に手に振りながら大声で叫びつづけました。「ダビデの子にホサナ」って。「ホサナ」と賛美しますが、これはヘブル語です。日本語に訳すと、「私たちが救ってください」という意味なのです。ユダヤ人たちは、このイエスという王が、自分たちをローマの支配の中にある苦しみから救い出してくださる方だと期待して、大声で叫んで迎えました。

いのちの祈り  
天のお父様、ユダヤ人たちの必死の叫びが聞こえるようですが、少しちがうのではないかとわかってきました。

# 2月20日(日)

聖書

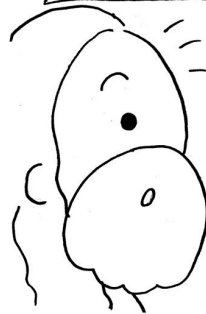
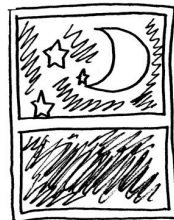
マタイ25・1～13

聖句

目をさましていなさい。その日、その時が、あなたがたにはわからないからである。 13節

「備えあれば憂いなし」って、古い言葉だけど、とても大切なメッセージですね。あなたは何かする前によく準備をしますか？よく備えていれば、イザ！という時にあわてなくてすみます。特に、私たちの花婿なるイエス様がいつおいでになってもよいように、備えたいです。それには心の目、霊の目をさまして待つことです。賢いおとめたちはちゃんと余分の油を用意していたので、婚宴のへやに入れてもらえました。三つの約束を守って備えましょう。

いのちの祈り 天のお父様、聖書を読み、お祈りをし、教会へ行くことができますように。心の目をさまして備えていきます。



聖書

マタイ25・1～13

テーマ

目をさましていなさい

暗唱聖句

目をさましていなさい。その日その時が、あなたがたにはわからないからである。 マタイ25・13

目標

キリストの再臨の日を待ち望み、霊の目を覚ましている者となる。

カリキュラム番号 47

# 2月22日(火)

聖書

マタイ24・37～39

聖句

人の子の現れるのも、ちょうどノアの時と同じである。 37節

グルメ時代です。もっとおいしいものを、もっとリッチなものを求めています。感情のままに結婚したと思うと、またすぐに離婚してしまいたくさんの人々がいます。ノアの時代と同じです。ノアだけは神様の前に正しく歩んで、神様の命令により箱舟をつくりました。家族たった八人だけが恐ろしい大洪水から救われました。その他の人々は大洪水に飲まれて滅んでしまったのです。イエス様が現れるのも、ちょうどその時のよう。きょうかも！明日かも！

いのちの祈り 天のお父様、世の中は本当にちょうどノアの時代の有様と同じです。そういう時、主が来られると知り心がひきしまります。

# 2月21日(月)

聖書

マタイ24・32～36

聖句

その日、その時は、だれも知らない。天の御使たちも、また子も知らない、ただ父だけが知っておられる。 36節

イエス様が再び来られる日、その日は古い天地が滅ぼされる日です。わあ大変だ。イエス様は言われます、「天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない(35)」と。何と力強いイエス様の言葉でしょう。しっかりと覚えていきましょう。イエス様が再び来られるその日、その時を、イエス様も知らないのですって！ただひとり、知っておられるお方がいます。天の父なる神様だけです。だから、私たちは心の目をさましていきましょう。

いのちの祈り 天のお父様、滅びることがないように、いつもしっかりと目を覚ましてその日のために備えさせてください。

# 2月24日(木)

聖書

マタイ 24・43～44

聖句

だから、あなたがたも用意を<sup>ようい</sup>していなさい。思いがけない<sup>おも</sup>時に<sup>とき</sup>人の子<sup>ひとこ</sup>が来るからである。 44節

ある時<sup>あるとき</sup>、こんなあかしを聞<sup>き</sup>きました。「わたしの父<sup>ちち</sup>は警察官<sup>けいさつかん</sup>です。でも、ある日<sup>ひ</sup>、泥棒<sup>どろぼう</sup>が入<sup>はい</sup>って、家をメチャメチャにしていってしまいました」って。そうです、泥棒<sup>どろぼう</sup>さんや盗賊<sup>とうぞく</sup>さんは、「今晚<sup>こんばん</sup>、あなたの家<sup>いえ</sup>に行<sup>い</sup>きますよ」なんて絶対<sup>ぜったい</sup>に言<sup>い</sup>いません。誰<sup>だれ</sup>にも気づかれない時に、そーっと入<sup>はい</sup>ってきます。家の主人<sup>しゅじん</sup>は、泥棒<sup>どろぼう</sup>がいつごろ来るかわかっていないなら目をさましていて、絶対<sup>ぜったい</sup>に入<sup>はい</sup>らせられないようにするでしょう。ところがいつかわからない、思いがけない時<sup>とき</sup>にくるのです。

いの

祈り

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、夜中<sup>よなか</sup>の盗人<sup>ぬすびと</sup>のように、イエス様<sup>きさま</sup>は全く<sup>まった</sup>思いもかけない時<sup>とき</sup>に来<sup>こ</sup>られるので、ますます用意<sup>ようい</sup>させてください。

# 2月23日(水)

聖書

マタイ 24・40～42

聖句

だから、目をさましていなさい。 42節

イギリスのタクシーの運転手<sup>うんでんしゅ</sup>さんが運転席<sup>うんでんせき</sup>の後のボード<sup>うしろ</sup>に書<sup>か</sup>いていました。「キリストが再び来<sup>こ</sup>られる時<sup>とき</sup>、運転手<sup>うんでんしゅ</sup>は取り去<sup>と</sup>られて、いなくなりま<sup>す</sup>」と。「え!? そしたら車<sup>くるま</sup>とわたしはどうなるの!?」ですね! イエス様<sup>きさま</sup>も言<sup>い</sup>われま<sup>す</sup>、「ふたりの者<sup>もの</sup>が畑<sup>はたけ</sup>にいと、ひとり<sup>ひとり</sup>は取り去<sup>と</sup>られ、ひとり<sup>ひとり</sup>は取り残<sup>のこ</sup>されるであらう。」うすをひく二人<sup>ふたり</sup>の女たち<sup>おんな</sup>も一人<sup>ひとり</sup>は去<sup>さ</sup>り、一人<sup>ひとり</sup>は残<sup>のこ</sup>ります。残<sup>のこ</sup>されると大変<sup>たいへん</sup>です! だから、その日<sup>ひ</sup>がいつ来<sup>き</sup>てもいいように目をさましていまし<sup>よう</sup>。

いの

祈り

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、取り去<sup>と</sup>られるか、取り残<sup>のこ</sup>されるかのどちらかです。目をさまして、上に引き上げられるよう備<sup>そな</sup>えます。

# 2月26日(土)

聖書

マタイ 25・1～11

聖句

用意<sup>ようい</sup>のできていた女<sup>おんな</sup>たちは、花婿<sup>はなむこ</sup>と一緒<sup>いっしょ</sup>に婚宴<sup>こんえん</sup>のへやにはいり、そして戸<sup>と</sup>がしめられた。 10節

もう一度<sup>いちど</sup>、今週<sup>こんしゅう</sup>の聖書<sup>せいしよ</sup>を読<sup>よ</sup>みましょう。五人<sup>ごにん</sup>は思慮<sup>しりよぶ</sup>深い、つまり賢<sup>かしこ</sup>いおとめたちです。五人<sup>ごにん</sup>は思慮<sup>しりよ</sup>の浅<sup>あさ</sup>い、つまり愚<sup>おろ</sup>かなおとめたちでした。みんなあかりは持<sup>も</sup>っていましたが、思慮<sup>しりよぶ</sup>深いおとめたち五人<sup>ごにん</sup>だけが備<sup>そな</sup>えの油<sup>あぶ</sup>を持<sup>も</sup>っていました。みんな居眠<sup>いねむ</sup>りをしましたが「花婿<sup>はなむこ</sup>だ!」の声<sup>こゑ</sup>で目が覚<sup>さ</sup>め、あかりを整<sup>ととの</sup>えました。でも、油<sup>あぶ</sup>の備<sup>そな</sup>えのない五人<sup>ごにん</sup>が油<sup>あぶ</sup>を買<sup>か</sup>いに出<sup>で</sup>ている間に、他の五人<sup>ごにん</sup>は花婿<sup>はなむこ</sup>と一緒に婚宴<sup>こんえん</sup>のへやにはいり、戸<sup>と</sup>がしめられました。もう入れなかつたのです。

いの

祈り

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、油<sup>あぶ</sup>の用意<sup>ようい</sup>がどんなに大切<sup>たいせつ</sup>かわかります。信仰<sup>しんこう</sup>のあかりが消<sup>き</sup>えないよう、み言葉<sup>ことば</sup>と祈<sup>いの</sup>りを大切<sup>たいせつ</sup>にします。

# 2月25日(金)

聖書

マタイ 24・45～51

聖句

主人<sup>しゅじん</sup>が帰<sup>かえ</sup>ってきた時<sup>とき</sup>、そのようにつとめてい<sup>と</sup>るのを見<sup>み</sup>られる僕<sup>しもべ</sup>は、さいわいである。 46節

お母<sup>かあ</sup>さんがちゃんとしまつてあるおやつをさがし出して、お母<sup>かあ</sup>さんがおつかいに行<sup>い</sup>っている間に、「しめ、しめ」って、パクパクやっている所に、いきなり、「ただいま! マア!」ってことになるとまずいでしょ。悪い僕<sup>わるし</sup>みたいになりませんように。こには、「忠実<sup>ちゅうじつ</sup>な思慮<sup>しりよぶ</sup>深い僕<sup>しもべ</sup>」がどんなにさいわいであるかと記<sup>しる</sup>されています。主人<sup>しゅじん</sup>のいない時<sup>とき</sup>も忠実<sup>ちゅうじつ</sup>に働<sup>はたら</sup>きつとめます。いつ主人<sup>しゅじん</sup>が突然<sup>とつぜん</sup>帰<sup>かえ</sup>ってきた時<sup>とき</sup>も、同じ姿<sup>すがた</sup>でつとめてい<sup>と</sup>るのを見<sup>み</sup>られるので幸<sup>さいわ</sup>いです。

いの

祈り

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、私も「忠実<sup>ちゅうじつ</sup>な思慮<sup>しりよぶ</sup>深い僕<sup>しもべ</sup>」として、いつでもどんな時<sup>とき</sup>でもあなたの目の前<sup>まへ</sup>にいますように生<sup>い</sup>きたいです。



# 2月27日(日)

せいしよ  
聖書

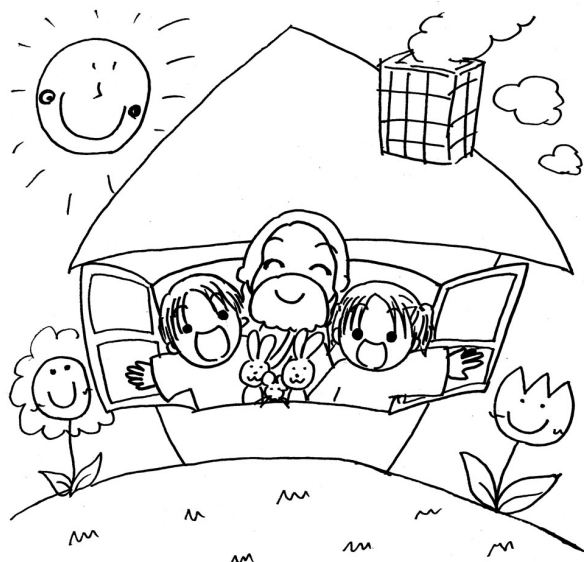
ヨハネ14・1～6

せいこく  
聖句

わたしの父の家には、すまいがたくさんある。 2節

「青い空よりまだむこうの 楽しい国にあるのは何 子どもの住まう大きなおうち 天の使いらの琴がびびく」という賛美を歌ったことありますか？ 今、あなたはどんな家に住んでいますか？ 私のお部屋がなくてちよつと淋しいよという人もありますか？ あんな家にすみたいなアと、頭の中に最高の家を描いてみてください。しかし、イエス様の父なる神様の家には、私たちの頭で描く何倍もすばらしいすまいがたくさんあります。天のマンシオン！ 希望がいっぱいですね。

いの祈り  
天のお父様、私たちの人生はこの地上だけでなく、天のすまいで永遠にあなたと共に生きる希望があり感謝です。



せいしよ  
聖書

ヨハネ14・1～6

テーマ

天国のすまい

あんしよせいこく  
暗唱聖句

わたしの父の家には、すまいがたくさんある。 ヨハネ14・2

もく 目標

みち道なるキリストを信じ、天国の希望をもって生きる者となる。

カリキュラム番号 48

# 3月1日(火)

せいしよ  
聖書

ヨハネ14・3

せいこく  
聖句

わたしのおる所<sup>ところ</sup>にあなたがたもおらせるためである。 3節

「場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう」とあります。イエス様は、今も私たちの住む場所を用意してくださっているのですね。何てうれしく楽しみなことでしょう。その用意ができてしまったら、私たちがイエス様のところに迎えに来てくださるというのです。それは「わたしのおる所<sup>ところ</sup>にあなたがたもおらせるため」と言<sup>い</sup>ってくださいます。愛する人同士は、いつもいつまでも一緒にいたいのです。

いの祈り  
天のお父様、こんな小さな私のために天にすまいを備えて、やがて迎えに来てくださる約束を感謝します。

# 2月28日(月)

せいしよ  
聖書

ヨハネ14・1～2

せいこく  
聖句

あなたがたは、心を騒<sup>さわ</sup>がせないがよい。神<sup>かみ</sup>を信じ、またわたしを信じなさい。 1節

あなたの心がザワザワさわぐ時<sup>とき</sup>ってどんな時でしょう？ ひとりぽっち、いじめられて、うらぎられて、いろいろなあるでしょう。何よりも、「死<sup>し</sup>んだらどうなる？」と考えると、本当に心はザワザワしますよね。イエス様は、そんな弟子<sup>でし</sup>たちや私<sup>わたし</sup>たちにむかって、「あなたがたは、心を騒<sup>さわ</sup>がせないがよい」と力強く呼びかけました。「神<sup>かみ</sup>を信じ、またわたしを信じなさい」。十字架<sup>じゆつじか</sup>により罪<sup>つみ</sup>をゆるし、永遠<sup>えいゑん</sup>の命<sup>いのち</sup>をくださる神様<sup>かみさま</sup>を信<sup>しん</sup>じて平安<sup>へいあん</sup>になれます。

いの祈り  
天のお父様、私の心のザワザワの原因<sup>げんいん</sup>はあなたがすべてご存知です。いつもあなたを信じて平安でおらせてください。

# 3月3日(木)

聖書

ヨハネ14・4～7

聖句

わたしは道であり、真理であり、命である。 6節

「あの子の言うことはコロコロ変わるから、とても信じられないよ」と思ったりしたことがありますか。その子ばかりでなく、世の中の意見もコロコロ移り変わります。そういうのは真理ではありません。真理とは、永遠のはじめから、永遠の終りまで、その間の時代にも、どの国の人のためにも当てはまる、絶対に変わらないものです。ハア？ そんな真理って、どこにあるの？ 「わたしは…真理であり」。そう、イエス様こそがズバリ！ その真理なのです。

いのちの祈り  
天のお父様、何もかもが移り変わる中で、イエス様こそは真理であると知り感謝です。ここにすべての解決があります。

# 3月2日(水)

聖書

ヨハネ14・4～7

聖句

わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。 6節

瀬戸内海をまたがって、四国と本州を結ぶ瀬戸大橋や、明石大橋はとってもきれいで車で走ると快適ですよ。イエス様は天と地とを結ぶ橋となり、天の父のみもとに通じるたった一つの道となってくださいました。イエス様以外に天の父のみもとに行ける道は、絶対にありません。清い神様と、私とをへだてる深い深い罪の淵は、誰にも何によっても埋められません。その上に架けられる橋はただ一つ、イエス様の十字架だけです。イエス様だけが道です。

いのちの祈り  
天のお父様、あなたが私のために天からプレゼントしてくださった、ただ一本の道なるイエス様を信じます。

# 3月5日(土)

聖書

ヨハネ14・8～12

聖句

わたしを見た者は、父を見たのである。 9節

この果てしなく雄大で奥深くバランスのとれた世界を創造された神、天の父は、私たちの肉眼では見えません。ピリポと同じように、「主よ、わたしたちに父を示して下さい」とお願いしたくなります。するとイエス様が「わたしを見た者は、父を見たのである」とおっしゃるではありませんか。えーっ！ そうなんだ、イエス様を見た人は父なる神様を見たことになる！ 何とワンダフル！ 私たちは今、信仰をもってイエス様と天の父を見ています。

いのちの祈り  
天のお父様、やがて天の御国に入れていただき、あなたやイエス様とお会いできる喜びと希望をもって進みます。

# 3月4日(金)

聖書

ヨハネ14・4～7

聖句

わたしは道であり、真理であり、命である。 6節

すべての生き物、人間をはじめとして、動物たちに、神様は命を与えて生かしててくださいます。魚の命は、水の中で生き生きと生きていきます。人間や動物や鳥たちは空気の中で呼吸して生きていきます。しかしみんな、汚れた罪の世界の中の命で、やがて滅んでいきます。天国の清い命をもらわなければ永遠には生きられません。そのためにイエス様は十字架で死に、三日目によみがえって、命そのものとなり、信じる私たちにその命をくださいます。

いのちの祈り  
天のお父様、「わたしはよみがえりであり、命である」と言われるイエス様のみ、真の命があることを信じます。

# 3月6日(日)

せいしよ  
聖書

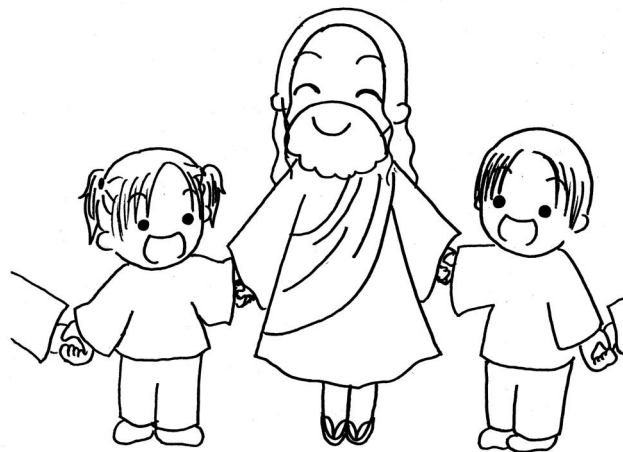
ヨハネ15・1～8

せいこく  
聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。 5節

ぶどう、好きですか？ 甘くて、ジューシーで、たまらなくおいしくて、私たちに大きな喜びと満足を与えてくれます。ぶどうの実がぶどうの木の枝になっているのを見たり、取ったり食べたしたりしたことがあるでしょうか。枝に実がなります。きょう、イエス様が、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」と言われます。ぶどうの木であるイエス様に、しっかりとつながっていれば、豊かな実を結べます。まわりの人に喜びと満足を与えていけるのです。

いのちの祈り  
天のお父様、イエス様のみ言葉をしっかりと覚え、信じ、そのとおりに行って、豊かに実を結ばせてください。



せいしよ  
聖書

ヨハネ15・1～8

テーマ

実を結ぶ生涯

あんしよせいこく  
暗唱聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。 ヨハネ15・5

よく  
目標

キリストにつながり、豊かな実を結ぶ者となる。

カリキュラム番号 49

# 3月8日(火)

せいしよ  
聖書

ヨハネ15・4～5

せいこく  
聖句

わたしにつながっていなさい。そうすれば、わたしはあなたがたとつながっていよう。 4節

ぶどうの木の枝の中の樹液が、ちょうど人間の身体の中の血液のように、命となつて、つながっている枝に流れこんでいくでしょう。イエス様につながることで、私たちの魂の中に、イエス様の命、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制という豊かな実がなっていくのです。何てうれしく、素晴らしいことでしょう。イエス様につながるとは？ イエス様の名によって集い、祈り、そして、しっかりと聖書を読み従うことです。

いのちの祈り  
天のお父様、このイエス様からも離れたら、私たちは何一つすることができなくなるとよくわかりました。

# 3月7日(月)

せいしよ  
聖書

ヨハネ15・1～3

せいこく  
聖句

わたしはまことのぶどうの木、わたしは父は農夫である。 1節

イエス様はまことのぶどうの木、そして父なる神様は農夫だと言われます。ぶどうの木がしっかりと根をおろし、枝を張り、どの枝にも粒ぞろいのおいしいぶどうの房が垂れさがるように、面倒を見ていくくださるのです。同じ木からいろんな枝が伸びてきます。中には実を結ばない枝もあり、父なる神様はその枝をとりぞかれます。実を結ぶものは、もっと豊かに実を結ぶために手入れされます。つまり剪定ということされます。あなたはどんな枝かな？

いのちの祈り  
天のお父様、もっと豊かに実を結んでいけるように、あなたのみ言葉で私の魂をチェックしてください。

# 3月10日(木)

聖書

ヨハネ15・7～8

聖句

あなたがたがわたしにつながって  
おり、わたしの言葉があなたがたにと  
どまっているならば、なんでも望む  
ものを求めるがよい。 7節

イエス様につながっている者の強味  
がここに約束されています。つながっ  
ていて、イエス様の言葉が心にとどま  
っているならば、なんでも望むものを  
求めるがよいとあります。つまり、お  
祈りが大胆にできるといことです。  
なんでも望むものを求めるなら、与え  
られるであろうとの約束です。「祈りの  
実」が豊かに与えられるということに  
なります。信じて、なんでも望むもの  
を求めていきましよう。

いのちの祈り 天のお父様、今まで、それほど大胆にはお祈り  
していませんでした。これから、もっともつとな  
んでも祈り求めます。

# 3月9日(水)

聖書

ヨハネ15・6

聖句

人がわたしにつながっていないならば、枝  
のように外に投げ捨てられて枯れる。6節

枝が木から離れるとうなるのでしょうか？  
しばらくは、つながっている枝と同じように、  
葉っぱも緑で、枝もしっかりしています。け  
れども、月日がたつにつれて、葉っぱは枯れ  
葉となつていき、枝全体も水分がなくなつて、  
ひからびていき、やがて枯れます。人々がそ  
れをかき集め、火に投げ入れて焼いてしま  
うと、イエス様が言われます。何と恐ろしいこ  
とでしょうか。イエス様とつながっていない  
ことはとても恐ろしい結果になります。しっ  
かりつながりましよう。

いのちの祈り 天のお父様、つながらない枝の恐ろしさを知り  
ました。ますますしっかりとイエス様につながっ  
ていきます。

# 3月12日(土)

聖書

ヨハネ15・16

聖句

あなたがたがわたしを選んだのではない。  
わたしがあなたがたを選んだので  
ある。 16節

あなたはだれかにさそってもらって教会  
に来るようになりましたか？それとも、お  
母さんのおなかの中にいる時から教会に  
来ていますか？いえ、私は自分から教会  
をみつけて来るようになりました。とい  
う人もいますかもしれませんが。どの人にし  
ても、実は、私たち人間が選んで決めた来  
たのではないのです。見えない神様が、永  
遠のご計画をもって、私たちひとりひとり  
を選んでくださったのです。感激でし  
よう!?それは豊かに実を結ぶためでした。

いのちの祈り 天のお父様、この小さな私さえも、あなたの方  
から選んでくださったことを知り、感謝に満たさ  
れます。

# 3月11日(金)

聖書

ヨハネ15・9～11

聖句

わたしの愛のうちにいなさい。 9節

父なる神様がイエス様を愛された愛は、どれ  
ほどの愛だったでしょう？地上でイエス様が  
天を仰いでお祈りされると、父なる神様はいつ  
でも喜んでこたえてくださいました。「そんな  
父の愛ほどの愛をもって、私もあなたがたを愛  
したのでよ、だから、私の愛のうちにいなさい」  
と、やさしく語りかけていてくださいます。  
ちょうど赤ちゃんがお母さんの両腕の中に安ら  
かに、幸せにいるように、私たちもイエス様の  
愛のうちにいつも安らぎましよう。

いのちの祈り 天のお父様、決して変わったり色あせたりしな  
い、いつも熱いイエス様の私への愛のうちにいこ  
います。

# 3月13日(日)

せいしよ  
聖書

マタイ26・36～46

せいいく  
聖句

わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさってください。 39節

「みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ」という祈りは、イエス様が教えてくださったお祈りの模範の、「主の祈り」の中の祈りですね。イエス様のゲツセマネ（油しぼり）の祈りはこの祈りでした。油しぼりと名付けられるほど苦しいお祈りだったので、「この杯」とは、イエス様が私たちのために十字架で死なれることでした。三度の苦しい祈りの中で、「みこころのままに」と勝利の心で立ち上がり、十字架に向かわれました。

**いの祈り** 天のお父様、どんなに苦しくても、あなたのみこころのままにお従いすることこそ勝利であることを信じます。



せい  
聖

しよ  
書

マタイ26・36～46

テ

マ

決断の時の祈り

あんしよせい  
暗唱聖句

わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさってください。 マタイ26・39

もく  
目

ひよう  
標

生涯の節目で祈り、御心に従って、立ち上がる者となる。

カリキュラム番号 50

# 3月15日(火)

せいしよ  
聖書

マタイ26・39

せいいく  
聖句

しかし、わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさってください。39節

イエス様は、ゲツセマネの園で、うつぶしになって、真剣に祈られました。そのイエス様のうへに、これからかけられる十字架の重荷、つまり、全人類の罪とのろいの、無限とも思えるような重荷がのしかかってきています。ですから、悲しみと苦しみの中で、「この杯をわたしから過ぎ去らせてください」と、まず祈られました。しかし、「しかし」です。「わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさってください」と祈りが導かれていったのです。

**いの祈り** 天のお父様、うつぶし、投げ出して祈る者のために、あなたは祈りをみこころにかなうよう導かれると知りました。

# 3月14日(月)

せいしよ  
聖書

マタイ26・36～38

せいいく  
聖句

わたしは悲しみのあまり死ぬほどである。 38節

大切な所へ、イエス様といつも一緒に行った弟子たちは、ペテロ、ヤコブ、ヨハネでした。イエス様は弟子たちに、「わたしは悲しみのあまり死ぬほどである」と言われました。ある牧師先生が、六歳の息子さんを交通事故で亡くされた時の、耐えがたい悲しみをお話されました。「死にたい」と思うほどの痛みの中で、このイエス様のお言葉に触れました。ああ、イエス様も悲しみのあまり死ぬほどだと言っておられると、大変慰めをいただいたとあかしされました。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の味わわれた悲しみや苦しみ以上のものは、この地上にはないことを覚えさせられます。

# 3月17日(木)

せいしよ  
聖書

マタイ26・42～43

せいいく  
聖句

わが父よ、この杯を飲むほかに道がないのでしたら、どうか、みこころが行われますように。 42節

眠ってしまつて、頼りにならない弟子たちを横に、イエス様の霊は、きつと、ます冴えていったのでしよう。二度目のお祈りです。大切なこと、重大な決断のためには、一回だけでなく二回重ねて、くり返しお祈りをする必要があるのだと教えられる。十字架刑は、なみたいていの苦しみではないので、「この杯を飲むほかに道は？」と祈りたかったでしょう。「ほかに道がないのでしたら、どうか、みこころが行われますように」と祈られました。

いの祈り  
天のお父様、重大な決断のために重ねて祈られた祈りは、「みこころのままに」でした。みこころを第一とします。

# 3月16日(水)

せいしよ  
聖書

マタイ26・40～41

せいいく  
聖句

誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていなさい。 41節

三人の弟子たちはどうしているか、一緒に祈っていてくれるのかと思いつつ、近づいてみると、彼らは眠っていたのです。弟子たちもイエス様の悲しみの深さを知り、あまりの悲しみに、眠ってしまいました。「心は熱しているが、肉体が弱いのである」とイエス様は弟子たちに言われました。その弟子たちに「誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていなさい」とも言われました。そんな弱い弟子たちのそばで、イエス様はただひとり祈られました。

いの祈り  
天のお父様、人間は心が熱くても肉体は弱いのです。そういう私たちのためにも主が祈ってください感謝です。

# 3月19日(土)

せいしよ  
聖書

マタイ26・45～46

せいいく  
聖句

人の子は罪人らの手に渡されるのだ。立て、さあ行こう。 45～46節

「まだ眠っているのか、休んでいるのか。見よ、時が迫った(45)と、三度の苦しみの祈りののち、イエス様は勝利の確信と共に、雄々しく立ち上がられました。ゲッセマネの祈りの中に、イエス様の、私たち罪人への愛が燃えました。これから受けようとされる恥ずかしめやこらしめ、あざけり、苦しみ、痛み、それらすべてに対して勝利を信じて立ち上がられました。そして、その原動力は、「みこころのままになさって下さい」の祈りでした。

いの祈り  
天のお父様、いつでも、どんなことの中でも「みこころのままに」と祈って、イエス様にならせてください。

# 3月18日(金)

せいしよ  
聖書

マタイ26・44

せいいく  
聖句

それで彼らをそのままにして、また行って、三度目に同じ言葉で祈られた。 44節

あなたも忍耐強くお祈りができますか? 「よくわかんない。どう祈ったらいいのかわかんないのか、どうしたらいいのかわかんないから、もうお祈りやめよう」なんてことになりませんように。目が重くなつて全く眠りかけてしまっている弟子たちをそのままにして、イエス様はまた行って、三度目に同じ言葉で祈られました。「しかし、わたしの思いのままにはなく、みこころのままになさって下さい」と。自分を捨て、自分の命を失う主のしもべの姿を見ます。

いの祈り  
天のお父様、確信を得るまで、二度も三度も祈られたイエス様にならって、みこころにかなうお祈りをさせてください。

# 3月20日(日)

せいしよ  
聖書

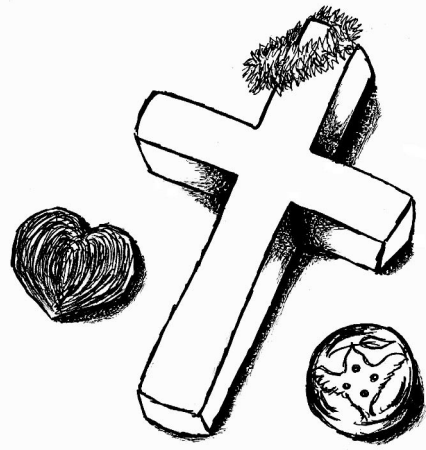
ルカ23・32～38

せいいく  
聖句

ちち かれ  
父よ、彼らをおゆるしてください。かれら  
はなにを  
しているのか、わからずにいる  
のです。 34節

むごたらしい十字架刑を受けられたイエ  
ス様は、十字架の上で七つの尊いお言葉を語  
られました。これは第一言、最初に口から出  
た、ゆるしの言葉です。とりなしの祈りです。  
「彼ら」とは、目の前にやりや剣やむちを持  
つローマ兵たちだけではありません。ご自  
分を殺そうとするすべての人たち、さらには  
全人類をさしています。あなたも含まれて  
います。どんなにか多くの人がこの言葉  
で、罪を悔改め赦され救われたことでしょう  
か。あなたもぜひそうしてください。

いの  
祈り  
てんのお父様、罪の完全なゆるしのお祈りを感  
謝します。イエス様の身代わりの死のゆえである  
ことを信じ、感謝します。



せいしよ  
聖書

ルカ23・32～38

テーマ

じゅうじ か じょう いの  
十字架 上の祈り

あんしよせいいく  
暗唱聖句

ちち かれ  
父よ、彼らをおゆるしてください。  
かれら  
はなにを  
しているのか、わから  
ずにいるのです。 ルカ23・34

もく  
目

じゅうじ か つみ ゆる たいけん  
十字架による罪の赦しを体験する  
もの  
者となる。

カリキュラム番号 51

# 3月22日(火)

せいしよ  
聖書

ルカ23・34

せいいく  
聖句

ひとひと きもの び わけ  
人々はイエスの着物をくじ引きで分け  
合った。 34節

「彼らは互にわたしの衣服を分け、わたしの  
着物をくじ引きにする」(詩篇22・18)、とあるよ  
うに、これも預言の成就でした。イエス様の  
十字架のふもとには、人間のありとあらゆる  
みにくいものがあつまりました。今にも神の  
御子が息を引き取ろうとしているそのふもと  
で、はぎ取ったイエス様の着物をくじ引きに  
していた！しかしその頭上数メートル上に  
は、神様のアガペーの愛が輝いていたのです。  
イエス様、心からありがとうございます！

いの  
祈り  
てんのお父様、十字架のまわりのみにくさと比  
べ、あなたのひとり子イエス様が輝かせたアガペ  
ーの愛を感謝します。

# 3月21日(月)

せいしよ  
聖書

ルカ23・32～33

せいいく  
聖句

ひとひと じゅうじ か  
人々はそこでイエスを十字架につけ、  
はんざいにん  
犯罪人たちも、ひとり右に、ひとり  
は左に、十字架につけた。 33節

されこうべ(どくろ)と呼ばれている所、  
ゴルゴダに三本の十字架が立てられまし  
た。二人の犯罪人も引かれていき、三人は  
両手両足を十字架に釘付けられたのでし  
た。イエス様は、真ん中の十字架につけら  
れました。それは、このイエスが三人の中  
でも一番の極悪人という意味でした。何  
の罪も犯されなかった聖なる御子が、本当  
はあなたがつけられるはずの十字架にか  
かって、罪の罰を受けて死んでくださいま  
した。心から信じ受け入れ感謝しましょう。

いの  
祈り  
てんのお父様、罪深い私に代わって、十字架で  
死んでくださったイエス様により、罪赦されるこ  
とを信じます。

# 3月24日(木)

聖書

I ヨハネ 1・5～7

聖句

そして、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。 7節

「罪によこれ、暗い心も、主イエス様の血で洗えば、白い雪のように、きれいに、輝く天の国へ行ける」という「字のない本の歌」を歌ったことがあるでしょう？ 手や顔や身体によこれは石けんで、服のよこれも洗剤できれいになります。心のよこれはそうはいきません。イエス様が十字架上で流してくださった罪のない汚れのない血潮だけが、私たちの罪汚れを洗い、きよめてくださるのです。罪をおわびし、きよくされつづけていきましょう。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様の十字架で流された血の力を信じます。私のすべての罪汚れをきよめてください。

# 3月23日(水)

聖書

ルカ 23・35～38

聖句

あなたがユダヤ人の王なら、自分を救いなさい。 37節

あざけりやのしりの言葉を、あなたも浴びせられたことがありますか？ムカついたり、キレそうになったり、実際にキレてしまったこともあるかな？ 役人たちはあざ笑いながら、「彼は他人を救った。もし彼が神のキリスト、選ばれた者であるなら、自分自身を救うがよい」と言いました。しかし、イエス様は、『自分を救わない救い主』であられました。そのことによって、今や、十字架の完全な救いのみわがが完成したのでした！ここにのみ罪の赦しがあります。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様は全く的はずれのあざけりには耳も貸さず、十字架の上で救いの道を開いてくださり感謝します。

# 3月26日(土)

聖書

II コリント 5・17

聖句

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。 17節

すべての罪をゆるしていただいたら次は何が起こるでしょうか。古いあなたは過ぎ去ってしまいます。そして、新しく造られたあなたが誕生するのです。罪に負け、誘惑に負け、きた古いあなたは、ゆるされた罪と共に過ぎ去ってしまいました。180度向きを変えて、これからはキリストと共に、キリストに向かつての新しいスタートです。これを「新生」の恵み、「新創造」の恵みと言います。もしまだあなたが新しく生れていないなら、新学年を前にいかがですか？

いのちの祈り

天のお父様、本当に心を新しく造りかえてくださり、新しくしてくださるのはイエス様だけだと信じています。

# 3月25日(金)

聖書

I ヨハネ 1・8～10

聖句

もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。 9節

かえるは毒が口の中に入ったなら、すぐに吐き出すそうです。私たちも恐ろしい罪の毒素を吐き出すことが必要です。それを「告白」と言います。ひとつひとつの罪を牧師先生に助けていただいて告白していくのです。自分がどんなにかみじめで、情けない罪の固まりであるかよくわかります。しかし、その私のすべての罪を負ってイエス様が死んでくださったことがわかると、感謝があふれてきます。ハレルヤ！

いのちの祈り

天のお父様、私もチャンスをとらえて、罪の告白をして、神様に全部をゆるしていただきたく願っています。



# 3月27日(日)

せいしよ  
聖書

ルカ23・39～43

せいこく  
聖句

あなたはきょう、わたしと一緒に<sup>いっしょ</sup>にパラ  
ダイス<sup>せつ</sup>にいるであろう。 43節

全世界<sup>ぜんせかい</sup>の人々、全人類<sup>ぜんじんるい</sup>を二つに分ける方法<sup>ほうほう</sup>には、男と女という分け方<sup>わけかた</sup>と共に、イエス様の十字架<sup>じゆうじか</sup>の右と左という分け方<sup>わけかた</sup>があります。つまり、イエス様を救い主<sup>すくぬし</sup>と信じた側<sup>がわ</sup>の人々と信じない側<sup>がわ</sup>の人々とに、です。イエス様と共に十字架につけられた犯罪人<sup>はんざいにん</sup>のひとり、いつまでも悪口<sup>わるぐち</sup>を言いつづけました。ところが反対側<sup>はんたいがわ</sup>の犯罪人<sup>はんざいにん</sup>は、イエス様のとりなしの祈り<sup>いのり</sup>を聞いてからでしょう、180度<sup>180ど</sup>変わってしまいました。イエス様を救い主<sup>すくぬし</sup>と信じ、その場で天国<sup>てんごく</sup>の約束<sup>やくそく</sup>を受けたのです。

いの祈り  
天のお父様、私も悔い改めて救い主<sup>すくぬし</sup>を信じて、パラダイスのお約束<sup>やくそく</sup>をいただいた犯罪人<sup>はんざいにん</sup>の側に入ります。



せいしよ  
聖書

ルカ23・39～43

テーマ

十字架<sup>じゆうじか</sup>による救い<sup>すく</sup>

あんしやうせいこく  
暗唱聖句

あなたはきょう、わたしと一緒に<sup>いっしょ</sup>にパラダイス<sup>せつ</sup>にいるであろう。

ルカ23・43

もく  
目標

悔い改めと信仰<sup>しんこう</sup>によって、十字架<sup>じゆうじか</sup>による救い<sup>すく</sup>を受け取る者<sup>もの</sup>となる。

カリキュラム番号 52

# 3月29日(火)

せいしよ  
聖書

ルカ23・40～41

せいこく  
聖句

おまえは同じ刑<sup>けい</sup>を受けていながら、  
神<sup>かみ</sup>を恐れないのか。 40節

他のもうひとりの犯罪人<sup>はんざいにん</sup>の見る所<sup>ところ</sup>と考える所<sup>ところ</sup>とはがっていました。この人はちゃんと自分の罪<sup>つみ</sup>がわかっていました。「自分たちは、やった事<sup>こと</sup>に対してむくいを受けるのは当然<sup>とうぜん</sup>だ。同じ刑<sup>けい</sup>を受けていながら、神<sup>かみ</sup>を恐れないのか」と相手の犯罪人<sup>はんざいにん</sup>をたしなめています。自分の罪<sup>つみ</sup>がわかること、これを「認罪<sup>にんざい</sup>」と言います。そこから、「救われるためにはどうしたらいいのでしょうか」と、叫ぶようになるのです。この犯罪人<sup>はんざいにん</sup>はギリギリのところ、このように導かれ、本当にさいわいでした。

いの祈り  
天のお父様、自分のありのままの姿<sup>すがた</sup>を見せられた犯罪人<sup>はんざいにん</sup>は、さいわいでした。認罪<sup>にんざい</sup>から救いへと入れられるからです。

# 3月28日(月)

せいしよ  
聖書

ルカ23・39

せいこく  
聖句

あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救<sup>すく</sup>つてみよ。 39節

ひとりの犯罪人<sup>はんざいにん</sup>はいつまでもイエス様に悪口<sup>わるぐち</sup>を言いつづけたとあります。この人にとつての「救い<sup>すく</sup>」とは、今のその苦しい十字架<sup>じゆうじか</sup>から降りて自由<sup>じゆう</sup>になることを示<sup>しめ</sup>しています。しかし、イエス様の「救い<sup>すく</sup>」は、全人類<sup>ぜんじんるい</sup>を悪魔<sup>あくま</sup>と死<sup>し</sup>と、永遠<sup>えいえん</sup>の滅びから救<sup>すく</sup>う、「永遠<sup>えいえん</sup>の完全な救い<sup>すく</sup>」なのです。ですから、イエス様はどうしても十字架<sup>じゆうじか</sup>にかかって、死<sup>し</sup>と悪魔<sup>あくま</sup>を滅<sup>ほろ</sup>ぼさなければならなかったのです。深いところを考<sup>かんが</sup>えないで、浅い表面<sup>あさひやうめん</sup>だけで非難<sup>ひなん</sup>したり、悪口<sup>わるぐち</sup>を言いたくないですね。

いの祈り  
天のお父様、イエス様の救い<sup>すく</sup>がよくわかりました。いつも深いところを見たり考<sup>かんが</sup>えたりできるように助けてください。

# 3月31日(木)

聖書

ルカ 23・43

聖句

よく言うておくが、あなたはきょう、  
わたしと一緒にパラダイスにいるであ  
ろう。 43節

イエス様はすぐに答えられました。「よ  
く言うておくが、この言葉は真実ですよ。  
「あなたはきょう」、そうです、「きょう」  
です。やがての再臨の時まで待たなくても  
「きょう、今、すぐに」、「わたしと一緒に  
パラダイスにいるであろう」と！イエス様  
と一緒にいる所なら、そこはどこでもパラ  
ダイスですね！何という大きな救いの恵み  
を、この犯罪人のひとりはいただいたこと  
でしょう。今も悔い改めて信じる者に、イ  
エス様の救いは「きょう」と与えられます。

いのちの祈り  
天のお父様、イエス様の十字架で流された血  
の力を信じます。私のすべての罪汚れをきよめ  
てください。

# 3月30日(水)

聖書

ルカ 23・42

聖句

イエスよ、あなたが御国の権威をもつ  
ておいでになる時には、わたしを思い  
出してください。 42節

自分の罪がよくわかり、悔い改めたひと  
りの犯罪人は、イエス様を、神の国の王、  
神の子、救い主と信じたのでした。そして、  
この祈りのような言葉をイエス様に言い  
ました。「イエス様、やがて御国の権威をも  
つてあなたがおいでになる時には、私を思  
い出してください。私のことを覚えていて  
ください」という、祈りのような言葉でし  
た。地上の命がもうあと少しで終わろうとす  
る時でしたが、まだ「恵みの時、救いの日」  
でした！間に合ったのです。

いのちの祈り  
天のお父様、私もこの犯罪人のように罪を認  
めておわびし、信仰もって「私を覚えてくださ  
い」と祈ります。

# 4月2日(土)

聖書

ローマ 3・21~24

聖句

彼らは、価なしに、神の恵みにより、  
キリスト・イエスによるあがないによ  
って義とされるのである。 24節

十字架上の犯罪人の救いは、まさに、こ  
のみ言葉のとおりですね。「価なしに」全  
く、ただで、0(ゼロ)円です。この犯罪人に  
そんなお金はありません。「神の恵みによ  
り」、ただ、ただ、神様のあわれみだけ  
頼みでした。犯罪人は心からへりくだって、  
あわれみを求めました。「キリスト・イエ  
スによるあがないによって」、イエス様の身  
代わりの十字架によって、それを信じるだ  
けで、神様に義と認められる、すなわち救  
いの中に入れられるのです。ハレルヤ！

いのちの祈り  
天のお父様、こんなにもシンプルで豊かなあ  
がないをイエス様によってお与えくださり、心よ  
りありがとうございます。

# 4月1日(金)

聖書

I コリント 1・18

聖句

十字架の言は、滅び行く者には愚かで  
あるが、救にあずかるわたしたちには、  
神の力である。 18節

イエス様の十字架のとなりの十字架につ  
けられた犯罪人は、まさに滅びゆく者でした。  
十字架につけられていたイエス様も、またそ  
の上で語られたお言葉も、彼にとっては愚か  
と思えるものでした。しかし、その反対側に  
いた犯罪人にとっては、大ちがいでした！イ  
エス様の祈りの言葉は、力をもって彼の魂に  
のぞみました。そしてついに、彼は悔い改め  
て、救いの信仰が与えられ、天国の約束まで  
受けたのでした！救われて信じている者に  
は、今も十字架の言葉は神の力です。

いのちの祈り  
天のお父様、世の中には十字架とみ言葉をあ  
ざける人々が、まだ多くいますが、信じ救われた  
者には、神の力です。